

地方創生における合意形成

正本 英紀（愛媛大学 社会連携推進機構地域専門人材育成・リカレント教育支援センター 副センター長／准教授）

講師略歴

技術士（環境部門）。1992年から2021年まで徳島県職員として地方行政に従事。この間、グリーンニューディールを主とした気候変動対策、地方空港利用促進、職員研修、サテライトオフィス及びコワーキングスペース、Society5.0など、これまで行政部局だけでは解決困難な地域課題に対して、産学民官連携を大胆に取り入れることで解決や改善に導いた実績を持つ。競争的資金を獲得したプロジェクト多数。

プログラム概要

大学においても、産学連携や地域連携、社会人人材育成はもとより、現在においては教育や研究のあらゆるにおいて、国や県・市町村、企業、NPO、あるいは地域住民との交渉や協働、協議などの場面が多くなってきました。また、新規事業の実施や競争的資金を獲得する際においても、こうした地域との連携が必要になってきています。

このプログラムにおいては、こうした地域との連携による地方創生の事例や手法について学ぶとともに、合意形成を行う際の手法のいくつかについて実際に体験してみると、産学民官協働に強い教職員の育成を図っていきます。

参加者のみなさまにおかれては、こうした協働の事例や合意形成手法を技術として身につけることで、社会に開かれた集合知の拠点として大学の機能向上を図るとともに、ネットワークの構築により、自身の仕事の効率化や縮減と精度の向上の両立を目指すことができるよう期待しています。

準備物・事前課題

国や県・市町村、企業、NPO、地域住民などとのプロジェクトでの課題を用意しておいてください。

主な受講対象者

- ・産学連携や地域連携、リカレント教育・生涯学習の推進等で対外折衝や連携を担当している教職員
- ・新規プロジェクトの立案・実行に携わっている教職員

到達目標

1. 異主体間連携の重要性と課題について予め十分な知識を持って行動することができる。
2. 合意形成の重要性についての理解ができる。
3. 合意形成を使った仕事の質的向上と仕事量の削減の方向性について認識できる。
4. 合意形成ツールの使用方法について理解ができる。